

2024年3月吉日

産学官広域連携センター事業の終了のお知らせ

大阪府と東北大学金属材料研究所が連携し、文部科学省の自治体連携融合事業として2006年4月にスタートした産学官連携事業（通称「大阪センター」）は、大阪府を中核した近畿圏の金属系ものづくり企業の支援を目的に活動を行ってきました。その後、概算要求ごとに「関西センター」「産学官広域連携センター」と名称を変え、兵庫県との連携も新たに加わり、大阪公立大学中百舌鳥キャンパス、兵庫県立大学書写キャンパス、クリエイション・コア東大阪（MOBIO）、そして仙台の金属材料研究所の4か所を拠点にして、18年にわたり活動を実践してまいりましたが、2024年3月をもって活動を終了することとなりました。この間、企業の皆さんとは、個別の技術相談や技術セミナー（合計68回開催した「ものづくり基礎講座」）等を通して、多様な交流を展開させて頂きました。最大で6名の東北大学の教員が関西に常駐して企業支援活動に従事し、多くの共同研究を通して6件の実用化や7件のサンプル出荷などの実績を上げることができました。事業の終了は、国の事業支援が完了したことが直接の原因ですが、限られた人材で行うにあたり、当初掲げた事業のミッションをある程度完了することができたと判断したことがあります。とはいえ、産学官連携の相互交流が無くなるわけではありません。企業の皆様には、ビジネス展開を行う上で、今後も大学や行政機関と気軽に交流を行っていただきたいと思っております。

あらためまして長年にわたり、事業を支えてくださいましたことに深く感謝申し上げます。皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げ、挨拶にかえさせていただきます。

東北大学 金属材料研究所
産学官広域連携センター センター長 正橋直哉